

福祉、産業、文化、の拠点に 中川原ふれあいセンター構想



▲来年の4月、ここ桜ヶ丘にたくさんの人が集まれる場所になりますように。

旧中川原中学校校舎活用で市に要望

去る、3月29日中学校閉校後の校舎活用について、当法人として洲本市長宛に要望書を提出しました。

法人より理事長、施設長が出席、連合町内会梶会長、平野事務局長(両者とも当時)同席のもと市の窓口である教育委員会に出向き、教育長に要望書を手渡しました。

要望書の内容は、中学校校舎1階部分に「中川原高齢者・障がい者・地域ふれあいセンター」を整備し、「歳を重ねても安心して楽しく住める福祉環境の充実した地域作り」や「人・産物・文化」交流と地域活性化の拠点をめざすというものです。

具体的には、地域の高齢者・障がい者の困りごと相談に応じる「なんでも相談



＜発行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷会
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551
ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>

新緑が眩しく風薫る季節となりました。いよいよ今月28日に「5周年記念のつどい」が行われます。ふくろうの郷のこれまでの思い出と、これからの地域を含めた更なる発展への夢を語り合える場になると思っています。皆様のこ来場心よりお待ちしております。

室」や住民同士のつながりや支えあう地域づくりをめざしたシステムである「おたがいさま中川原」、障がい者の就労支援の場として、パン工房やカフェの運営などを地域の方々のご要望、ご意見を取り入れ、盛り込んだものになっています。市からは地域住民の要望を盛り込んだ内容であり、前向きに検討したいとのご返答をいただきました。その後、5月2日付で市より「校舎は東日本大震災被災者の受け入れ施設になっており、利用は一定期間保留にしたい」との回答をいただきました。

(事務長：八木)

ふれあいセンター準備室 担当者よりあいさつ



室長
濱田良介

4月1日から中川原高齢者・障がい者・地域ふれあいセンター事業準備室の担当の濱田です。今までは主にふくろうの郷内で相談支援事業に関わっていましたが、今後は中川原地域の方々のお力を借りながら中川原中学校での事業、また、その他いろいろな事業を展開していく予定です。不安もありませんが、新しいことにチャレンジできる機会を与えてもらったことに感謝して自分なりに頑張っていきます。今後ともよろしくお願いたします。

中川原ふれあいセンターの実現をめざして

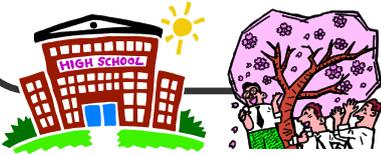
■5周年記念事業3シリーズを実施します

No. 1

5月28日(土)

5周年記念のつどい

5年の歩み・取組を検証し、今後に向けての新たな出発の場とし、記念誌を発行します。



No. 2

7月17日(日)

パネルディスカッション

■パネラー予定者
洲本市、専門家、中川原地域の方等に地域再生について熱く語っていただきます。



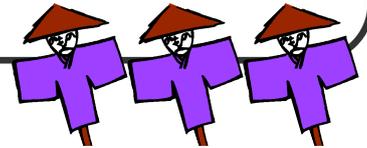
No. 3

10月23日(日)

第6回

ふくろうふれ愛まつり

ふくろう B 級グルメ大会
やミニ SL、巨大シャボン玉などなど。



■人権・共生の取組みを更に進めます

ふくろう大学新規開講

従来の講座に加え、「料理講座」「自分史作り」「地域を歩く」を新たに開講します



▲今年度からはじまった料理講座。

防災の取組み

恒例のバーベキュー大会と、炊き出し訓練のコラボで防災力アップを目指します。



その他の取組み

ふくろうの郷への道しるべを作ります。



「兵庫はひとつ！」たくさんの仲間の運動で作られたふくろうの郷。5周年記念事業が新たな課題に向けての飛躍の場となるよう、入所者、職員、支援して下さる方、地域の方等一丸となり、今後1年間取り組んでいきます。みなさまの更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

総務主任 辻

参加お待ちしております「5周年記念のつどい」

淡路ふくろうの郷 開所5周年記念のつどい

日時：平成23年5月28日(土)
午後1時～
場所：中川原中学校
淡路ふくろうの郷
内容：式典・記念講演・
記念パーティ
講師：講師：高田裕氏
(たかたクリニック院長)

淡路ふくろうの郷開所5周年記念のつどいが5月28日(土)午後から、中川原中学校、ふくろうの郷を会場に開かれます。
このつどいは、ふくろうの郷5周年を記念して、関係者が一同につどい、喜びを分かち合うとともに5年の歩みを振り返り、今後の更なる発展を願う出発の場とするものです。
第1部は記念式典、第2部は記念講演で五色のたかたクリニック院長の高田裕医師を講師に迎え、「地域医療に取り組んで」と題して、先生の在宅ホスピス等の取り組みをお話ししていただくなかで、今後の私たちの活動や地域との関わりについて学びたいと思います。第3部は会場をふくろうの郷に移し、祝賀会を行います。食を楽しみながら5年間の思い出などを振り返ります。地域の方々を始め、多くの人たちの参加をお待ちしております。
(事務長：八木)

平成23年度地域交流会／家族会の役員紹介

4月24日(日)10時30分より「平成23年度淡路ふくろうの郷地域交流会定期総会」が行われました。19名の参加で22年度の事業報告、23年度の事業計画について話し合わせ、23年度の役員が決まりました。



▲春祭りでの北岡会長(写真中央)。

淡路ふくろうの郷地域交流会役員は左記の通りです。

【会長】

北岡 肇 様(再任)

【副会長】

金坂 明久 様(再任)

木村 泰生 様(新任)

【委員】

山下 義和 様(再任)

淡路ふくろうの郷家族の役員は左記の通りです。

【会長】

廣地 タマヘ 様

【副会長】

先山 栄一 様

【会計監査】

堀越 祥二 様

【監事】

神 邦人 様

小林 泉 様

長塚 寿子 様



相談員
加野明宏

4月1日より生活相談員への異動になりました加野明宏です。

利用されます皆様が安心して生活を送れますよう精一杯援助させていただきます。よろしく願いたします。



家族会会長
廣地タマヘ様

「淡路ふくろうの郷」が完成して丸5年。「家族の会」が発足して3年目に入りました。この4月から会長という大役を仰せつかり、微力ではありますが、精一杯努める所存でございます。

入所している方々のご家族皆様の親睦を図ることと合わせて、思い・願いを「淡路ふくろうの郷」に向けて伝え、入所しているみなさまが、毎日、楽しく、豊かに過ごすことができますよう、私たち家族が出来る限りの協力をして参りたいと思っております。

今後とも、よろしくご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

リレーエッセイ 評議員 岩林 寛子

ふくろうの郷に、労働組合が結成して3年を迎え、当初は5人でのスタートでしたが、現在は職員の約半数が加入しています。

私たちが加盟している、全国福祉保育労働組合は保育関係とふくろうの郷と同じような高齢施設や、障害者の作業所・授産施設などの職場の労働組合です。福祉の仕事は人相手なので様々な問題があり、難しいですがそこが面白くもあります。

「やりがいを持って働きたい」というのはすべての職業に共有するものでしょう。ですが、福祉を取り巻く環境は決していいものではありません。利用者への自己負担の増額や、制度の改悪で経営困難になり職員が解雇されるようなこともあちこちでおきています。

そういった中でもふくろうの郷は「ひとりひとりを大切に」という理念のもとにおいて、組合と法人は対等の立場で、一緒に考え、運動をしていくこと、入所者の生活を守ること、そして、職員も生き生きと笑顔で働けるふくろうの郷をつくること。それらは組合が目指す目標です。



▲組合発足後の第1回組合交渉にて。

地域を語る

第29回

鳳来山・松栄寺について

(中川原町市原)

住職 笹津寛照

当寺は室町の頃地域の村の鎮守として本尊の薬師瑠璃光如来を安置したのが始まりである。

現在の様な境内(向かって右手から庫裏・本堂・弁天堂・庚申堂・鐘楼・四国八十八ヶ所参所)になるのは江戸時代に入ってからで、庭園からは大阪湾が一望できる。

当寺の山号は江戸時代頃の記録を見ると『寶峯山』『鳳来山』『宝来山』等の変遷が見られるが、今は江戸末期に使用していた『鳳来山』を冠している。

有名なのは庚申堂で、石段の途中に「一國一宇市原庚申堂」と刻んだ石碑が建っているように、淡路島の庚申さんの本山として今も多くの信仰を集めている。

庚申堂はかつて同村に松林寺という当寺の末寺があった。寛文十二年(一六



▲春らんまん鳳来山・松栄寺

七二)松林寺は青面金剛を本尊にしようとしたが、庚申総本山・大阪・四天王寺から異議が出たので、正式に四天王寺に願い出て申請し庚申堂を建てたという。その後松林寺は廃寺となり、庚申堂を松栄寺に移し(明治初期)現在に至っている。お堂の中には当時の物と思われる宝永四年(一七〇七)の銘がある。屋根瓦が陳列されている。

本尊の青面金剛像は定願作と伝えられ秘仏になっていた。六十年に一回庚申の日に御開帳され、前回は昭和五十五年春に大祭が行われている。

寺岡さん百歳のお祝い

星海ユニット



ご家族そろってのお祝い。

5月5日に星海ユニット5月度誕生日会が行われ、誕生日を迎えられた入所者様のお祝いを行いました。この日満百歳の誕生日を迎えられた寺岡初枝様はご家族、入所者、職員皆さんから盛大に祝福され、感激の涙を流されていました。

職員からお祝いのことは寺岡さん百歳おめでとうございませ。百歳を迎えられる方は初めてなもので、皆とても喜んでくれます。毎日百歳とは思えないくらい、手編みやお花講座などに積極的に参加され、ふくろうの郷での生活を楽しまれていきます。これからも新たな目標を下さいます。素敵な笑顔を見せたい。生活援助員…山西)



寺岡初枝様
明治44年
5月5日生まれ
(100歳)

お誕生日おめでとう!

ふくろうはとても良いところですよ。みんな親切に接してくれておかげで、長生きできています。百歳まで生きられるとは思っていませんでした。とても感謝しています。

平成23年度ふくろう手話講座開催



今年度も中川原地域交流会と共催で5月14日(土)にふくろう手話講座を開講します。入所者と交流を深めながら一緒に手話を学びませんか。

シバザクラの寄贈



▲帯状に咲いたシバザクラ。

故内田朝哉さんの寄贈で植え付けられ、郷を綺麗に飾っています。

ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの郷の入所者さんと、楽しい時間を過ごしませんか。

◆開催日時: 6月19日(日)
13:30~15:00

コーヒー・ココア・紅茶・カルピスなど 1杯¥200より

